表 共産党第20回全国代表大会における習近平総書記報告のいくつかの分野における主な概要

分野	主な概要
今後について	・第2の100年奮闘目標を実現するため、中国式現代化で中華民族の偉大なる復興を推進する。 ・2020年から2035年までに社会主義現代化を基本的に実現し、2035年から今世紀半ばまでに我が国を富強な・民主的・文明的・調和の美しい社会主義現代化強国に築き上げる。 ・今後5年間は社会主義現代化国家の全面的建設をスタートさせる肝心な時期である。憂患意識を高め、最低ライン思考を堅持するべき。 ・質の高い発展は社会主義現代化国家の全面的な建設のための第1の任務である。
経済発展	・内需拡大戦略とサプライサイドの構造改革の深化を有機的に結び付け、国内大循環の内生的原動力と信頼性を 増強し、国際循環の質とレベルを高め、全要素生産性の向上に注力し、産業チェーン・サプライチェーンの強靭性・ 安全性向上に力を入れる。・経済発展の重点を実体経済に置くことを堅持し、新型工業化、製造強国、品質強国、宇宙開発強国、交通強国、イ ンターネット強国、デジタル中国を推進する。
科学教育興国•人材	・科学技術を第1の生産力とし、人材を第1の資源とし、イノベーションを第1の原動力とすることを堅持する。 ・教育の優先発展、科学技術の自立自強、人材による牽引・駆動を堅持し、教育強国、科学技術強国、人材強国の建設を加速する。 ・イノベーションを我が国の現代化建設の核心に据えることを堅持する。力を集中して独創的・先駆的な科学技術のブレークスルーを行い、基幹核心技術の開発を必ず成功させる。一連の戦略性・全局性・先見性のある国家重要科学技術プロジェクトを早急に実施し、自主イノベーション能力を増強する。
国際面	 ・ハイレベルの対外開放を推進し、着実に規則、規制、管理、標準などの制度型の開放を拡大し、貿易強国の建設を加速し、「一帯一路」共同建設の質の高い発展を推し進める。 ・一国二制度は復帰後の香港・マカオの長期的繁栄と安定を保つ最も優れた制度的取り決めであり、長期的に堅持しなければならない。 ・祖国統一の大業を揺るぐことなく推進する。台湾の同胞に配慮し、幸福をもたらす。最大の誠意をもって、最大の努力を尽くして平和的統一の未来を実現するよう努めるが、決して武力行使の放棄を承諾せず、あらゆる必要な措置をとるという選択肢を残す。その対象は外部勢力の干渉と、ごく少数の台湾独立分裂分子とその分裂活動であり、決して広範な台湾同胞に向けたものではない。祖国の完全統一は必ず実現しなければならず、必ず実現できる。
国家安全保障	・国家安全保障の法治体系、戦略体系、政策体系、リスクモニタリング・早期警報体系、国家緊急対応管理体系を整える。 ・国家の政権の安全、制度の安全、イデオロギーの安全を断固として守り、食糧、エネルギー資源、重要産業チェーン・サプライチェーンの安全を確保する。
共同富裕	・基本公共サービス体系を整え、公共サービスレベルを向上させ、均衡性とアクセシビリティを高め、共同富裕を着実に推進する。 ・分配制度を完全なものとする。労働分配を主体としつつ、多くの分配方式を併存させる。勤勉に働いて豊かになることを奨励し、機会の公平を促進し、低所得者の所得を増やし、中間所得増を拡大する。
グリーン発展	・産業構造調整、汚染対策、環境保護、気候変動対策を統一的に進め、炭素排出削減、汚染対策、緑化、成長を共に推進する。 ・積極的かつ確かなカーボンニュートラル、カーボンピークアウトの推進は、我が国のエネルギー賦存に立脚し、計画をもって段階を分けて実施する。エネルギー革命を深化させ、石炭のクリーン・高効率利用を強化する。

(出所)共産党第20回全国代表大会における習近平総書記報告からジェトロ作成